

【別記様式第1号】

## 山形セレクション（農林水産分野）認定申請書

平成 年 月 日

山形県知事 殿

申請者 住 所

（法人、団体の場合は、主たる事業所の所在地）

氏 名

㊦

（法人、団体の場合は、名称及び代表者の職名・氏名）

山形セレクション認定制度実施要綱第7条第2条の規定により、下記について「山形セレクション」の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

品 目 名	
品 種 名	
申 請 者 (氏名又は名称)	

【別記様式第2号】

山形セレクション（農林水産分野）認定申請調書

－農産物・林産物（特用林産物）－

I 申請者の概要

ふりがな			
氏名又は名称			
ふりがな			
代表者の職・氏名			
住 所		〒	
構成農家数		戸	常時生産従事数※ <sup>1</sup> 人
TEL	( ) -	FAX	( ) -
担当者	所属：	職名：	氏名：
TEL	( ) -	E-mail	
FAX	( ) -		

※1：基幹的農業従事者（ふだんの主な状態が農業が主の者）の人数を記載してください。

II 申請品の概要

品目名	米	品 種 名	商 品 名	
直近の 生産実績 ( 年度)	品目全体	生産量	t・俵 販売金額 万円	
	当該品種	生産量	t・俵 販売金額 万円	
生産出荷計画の概要 ( 年度)	栽培予定面積	品目全体	ha 当該品種 ha	
	当該品種の主な栽培地※ <sup>1</sup>			
	出荷予定数量 及び品目全体の 販売見込金額	品目全体	t・俵	万円
		当該品種	t・俵	万円
		認 定 品	t・俵	万円
	出 荷 予 定 期 間	出荷期間： 月 旬～ 月 旬		
	集出荷施設（場所）			
乾燥調製・出荷形態 (右欄に○を付けてください。)		<b>【乾燥調製】</b> 個人・共同乾燥調製施設 (CE・RC・MRC) その他 ( ) <b>【出荷形態】</b> 玄米 (30kg袋・フレコン)、精米 ( kg袋) その他 ( )		
主な出荷販売先				

※1：市町村名地区名（小字名）まで記載してください。複数の栽培地がある場合は規模の大きい代表的な栽培地を記載してください。



	<p><b>【食味分析】</b></p> <p>◇食味分析機関          ・自分の組織で実施          ・農業技術普及課で実施（普及課名                      ）          ・農業研究センターで実施（場所名                      ）</p> <p>◇セレクション品の分析（分析の流れ）をどのように行うか具体的に記載してください。</p>
--	--

② 県内外で認知性・周知性を有する品目・品種で、品質及び生産量において安定した供給が可能であること

項 目	申請者記載欄
生産拡大や安定出荷、安定した品質の維持・向上に向けた取組み状況を記載してください。	◇現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。 （生産技術面での取組み、生産計画検討会・技術研修会等の開催・参加状況等）

(2) 流通・販売における優位性の確保と品質管理の体制整備

① 出荷資材のデザインの統一、優れた品質・機能性等の特徴や食べ方の周知・提案等により、流通・販売段階での優位性の確保に努めていること

項 目	申請者記載欄
流通・販売における優位性確保のため取り組んでいることを記載してください。	◇現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。 （流通・消費ニーズの把握、機能性や食べ方の周知・提案、消費拡大のための取組み、出荷箱や荷姿を統一した販売対策等）
	◇セレクション品の取扱いについて、特に実施を考えていることがありましたら記載してください。

<p>主要取引先（出荷先）と取引形態（契約取引・相対取引等の割合）を記載してください。</p>	<p><b>【これまでの取引】</b></p> <p>◇主要出荷先</p>	<p>◇取引形態（○を付けてください。）とその割合</p>
	_____	<p>契約・相対・直売・その他 _____ %</p>
	_____	<p>契約・相対・直売・その他 _____ %</p>
	_____	<p>契約・相対・直売・その他 _____ %</p>
	_____	<p>契約・相対・直売・その他 _____ %</p>
	_____	<p>契約・相対・直売・その他 _____ %</p>
	<p><b>【セレクション品の取引（予定）】</b></p> <p>◇セレクション品の販売方法、主な出荷・販売先についてどのように考えているかを記載してください。</p>	

② 徹底した品質管理とクレーム対応のための記録管理や体制整備を行っていること

項目	申請者記載欄
<p>収穫・調整（製）、出荷、流通、販売において、鮮度・品質を保つための取組み（記録管理を含む。）を記載してください。</p>	<p>◇現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。</p> <p>◇セレクション品の取扱いについて、特に実施を考えていることがありましたら記載してください。</p> <p>◇出荷先・出荷数量の記録管理</p> <p>・している          ・していない</p>



2 安全性・安心感への配慮 安全性に十分配慮した消費者から信頼される商品・サービスの提供

(1) 生産工程等における安全性の確保

① やまがた安全・安心取組認証等の認証を受けるなど、生産・出荷工程において農薬等の適正使用、栽培履歴の記帳、残留農薬検査の実施等の安全性確保の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>申請品の安全性確保のためどのような取組みを行っていますか。                      (各種認証制度による認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。)</p>	<p>◇現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください</p> <p>◇認証制度名、認証番号</p> <p>※有機・特裁・エコファーマーは5(1)①に記載してください。</p> <p>◇物理的防除、耕種的防除の取組み内容を記載してください。</p>
<p>申請品の生産に係る肥料(土づくり肥料を含む)や各種資材について記載してください。</p>	<p>◇使用している肥料、各種資材の商品名や成分等が</p> <p>・すべて明らか ・一部資材は不明 ・ほとんど不明</p> <p>◇生産工程管理表への資材名等の記載</p> <p>・あり ・なし</p>
<p>農薬等の飛散等による申請農産物および周辺農作物等への影響防止に向けた取組みを記載してください(ポジティブリストへの対応)。</p>	<p>◇認定申請品への飛散防止策</p> <p>・講じている ・講じていない ・今後講ずる( 頃～)</p> <p>⇒講じている内容を具体的に記載してください。</p> <p>◇周辺農作物への飛散防止の取組み</p> <p>・行っている ・行っていない ・今後行う( 頃～)</p> <p>⇒講じている内容を具体的に記載してください。</p> <p>◇周辺栽培者との農薬使用や収穫時期についての情報交換</p> <p>・行っている ・行っていない ・今後行う( 頃～)</p>

(2) 消費者との交流等による信頼性の確保

① 消費者との交流や生産者の顔が見える販売、トレーサビリティ・システムの導入等、消費者の安心感・信頼性を確保する取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>トレーサビリティ・システムの導入等、消費者や流通関係者への生産情報の開示・提供の取組みについて記載してください。</p>	<p>◇問い合わせに対する生産情報の開示が</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即時に対応できる体制である</li> <li>・体制が整っていない</li> </ul> <p>◇生産情報の開示・提供の方法を記載してください</p> <p>◇IT活用による情報公開可能なトレーサビリティ・システムを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入している</li> <li>・導入していない</li> <li>・導入予定 (                      頃～)</li> </ul>
<p>消費者や小売店との交流や生産者の顔が見える販売の工夫をしている場合は、その概要を記載してください。</p>	<p>◇現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。 (消費者等との交流会の開催、消費地・小売店への出張PRの実施、生産者の顔の見えるPR資材の活用等)</p>

3 山形の自然、歴史・文化の継承 山形特有の地域資源を活かした商品・サービスの提供

(1) 地域資源の活用

① 地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売において活かす取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売においてどのように活かしているか具体的に記載してください。</p>	<p>◇自由に記載してください。</p>
<p>水田農業ビジョンや地域農業振興における位置づけ、市町村等との連携、産地・地域として今後の振興方策、後継者(担い手)の育成・確保方策等について記載してください。</p>	<p>◇自由に記載してください。</p>



4 山形の技術・技法の伝承 伝統的な技術・技法に裏打ちされた商品・サービスの提供

(1) 立地条件に適した技術・技法の維持向上

- ① 地域の自然条件を活かした独自の栽培方法の採用や立地条件に適した生産技術の導入等、産地の形成及び拡大に向けた技術・技法の維持向上、普及の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
申請品の生産・流通・販売において、自然環境や栽培地の地理的条件をどのように活用しているか記載してください。	◇自由に記載してください。
技術の維持向上、高品質生産のための技術開発・普及への取組みについて、自主的なほ場格付や良質米品評会等も含めその概要を記載してください。	◇自由に記載してください。
栄養価を高める等農産物の特性を発揮させるための栽培管理面等での工夫を記載してください。	◇自由に記載してください。

5 環境への配慮 山形の自然・大地に対する感謝と敬意を払った商品・サービスの提供

(1) 環境に配慮した生産方式の導入

- ① 有機栽培、特別栽培、エコファーマー等、環境に配慮した生産方式や、耕畜連携による土づくりなどの取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
有機栽培、特別栽培、エコファーマー等の認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。	◇認証制度名（対象品目）、認証番号  ◇今後認証を受けようとしている認証制度と予定時期 認証制度名（対象品目・認証機関名）  申請予定時期      年      月

<p>化学農薬、化学肥料低減への取組みを記載してください。</p>	<p>◇化学農薬の低減</p> <p>・行っている（ 割削減） ・行っていない</p> <p>◇化学肥料の低減</p> <p>・行っている（ 割削減） ・行っていない</p>
<p>有機物投入等による土づくりと、土壌診断や植物体分析、効率的な施肥技術による施肥の適正化について記載してください。</p>	<p>◇土づくりの取組み概要（有機物等の種類・年間投入量、耕畜連携の状況等）を記載してください。</p> <p>◇診断の種類と概要、結果の活用方法</p> <p>◇効率的な施肥技術の概要</p>
<p>肥料や堆肥等有機物の安全性等に配慮していますか。</p>	<p>・配慮している ・配慮していない</p>

② 生産資材、残渣、種子消毒等防除時の排液（廃液）の適正処理、リサイクル等の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>農産物残渣や農業用廃プラスチック、使用済み農薬、肥料の容器等生産に係る資材の廃棄・リサイクル処理方法について記載してください。</p>	<p>◇農産物残渣の処理方法</p> <p>◇資材の廃棄・リサイクル処理方法</p>

## 6 その他

(1) 申請品に対する想い（農産物の特徴、栽培面でのこだわり等）を記載してください。

◇食味分析（玄米タンパク、アミロース）以外の項目（例えば白度や千粒重など）を目標値として設置しているなど記載してください。

(2) 申請品が山形セレクションに認定された場合、認定品の流通・販売計画（出荷・販売先、認定マークの小売段階までの表示方法、価格設定（交渉）の方法、有利販売に向けたPR方法等）を記載してください。（記載欄が不足する場合は、別葉に記載してください。）

◇自由に記載してください

◇セレクションブランドマークの表示、活用方法

◇流通・小売関係者を巻き込んだ取組み

## 7 添付資料

下記のうち「●」を付したものは必ず、「○」を付したものは認証を受けている場合や実施している場合に添付してください。

- 総会資料等事業・活動記録（組織・部会・法人等の活動がわかるもの）
- 生産工程管理表（生産工程の作業内容、使用種苗・資材、使用機械・器具、及び肥料・農薬名等が記録されているもの）
- 出荷規格表等（出荷物を厳選していること、申請品が最上位品であることがわかるもの）
- 実際に使用している独自のマーク・シール及び包装資材等（写真等でも可）
- 各種制度等の認定証の写し
- これまでに実施した土壌診断・植物体分析等の結果
- これまでに実施した残留農薬分析結果
- 申請品の概要がわかる写真・パンフレット（イメージイラストでも可）等
- その他自己の生産・販売等にアピールする資料

## 山形セレクション（農林水産分野）認定申請に係る 誓約書

山形セレクションの認定を受けた際には、山形セレクション認定制度実施要綱に定める事項を遵守し、山形セレクションの品位保持に努めるとともに、以下の事項について特に留意することを誓約します。

- 1 原則として、認定品の流通、販売において、当該認定品が山形セレクションとして認定されたものであることを表示すること。
- 2 県内外の消費者及び流通関係者に対して積極的な情報発信を行うことにより、認定品及び山形セレクションの認知普及に努めること。
- 3 認定品の出荷量、流通状況及び消費動向については随時把握に努めること。
- 4 認定品の計画的な生産・製造又は提供及び適正な品質管理並びに関係書類の整理保管に努めること。
- 5 認定品の生産・製造、流通及び販売等において、当該認定品に係る事故又は苦情等が発生したときは、当方がその責任を負い、当該事故等の解決に向けて誠実に対処すること。

平成 年 月 日

山形県知事 殿

住 所

（法人、団体の場合は、主たる事業所の所在地）

氏 名

㊦

（法人、団体の場合は、名称及び代表者の職名・氏名）